科目ナンバリング	U-LAS03 10007 SB48						
授業科目名<英訳>	外国文献講読（法・英）II-E1 Readings in Humanities and Social Sciences (Law, English)II-E1			担当者所属職名・氏名	法学研究科　教授　　佐々木　健		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	外国文献研究			使用言語	日本語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	火3	配当学年	2回生以上	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

法学に関する英語の専門的文献を精読することにより、分野の基礎知識を習得するとともに、専門的な英語文献の内容を正確に理解して読み進める訓練を行う。
この授業では、欧州の古代・中世における政治思想を社会史的に分析した英語文献を講読する。その読解を通して、学問的な態度を身につける。

本科目では、文献精読が求められるが、逐語的理解を前提に、担当者が各セクションの内容を咀嚼して紹介する形で進める。こうして、対話と議論が英語文献に接する際にも必要なスキルであることを体感する。

[到達目標]

法学の基礎知識を習得する。また、法制史に関する専門的な英語文献の読解力と考察力を身に付ける。
法制史学の分析視座を習得する。

[授業計画と内容]

Ellen Meiksins Wood, Citizens to lords : a social history of western political thought from antiquity to the Middle Ages, 2008を精読する。

第１回　イントロダクション
授業の進め方、講読する文献および参考文献等について説明する。
講読にあたり必要な基本知識を解説する。
第２回以降の分担（担当者と批評者）を割り当てる。

第２回～第14回　講読
授業は、セクション（全39）ごとに担当者が紹介ペーパーを事前に提出する形で進める。セクションは３頁ほどの短いものもあれば、13頁など長いものもある。
毎回３セクションずつ読み進めると共に、事前に提出されたペーパーに対する批評者を初回に指名して、担当者の理解に関する質疑を行なった上で、全員で議論する。

≪期末試験≫

第15回　フィードバック
試験の意図を解説し、参考文献等を摘示して学生の自習を支援する。

外国文献講読（法・英）II-E1(2)へ続く↓↓↓

外国文献講読（法・英）II-E1(2)

[履修要件]

外国文献講読（法・英）は専門への導入コースであるため、２回生以上を対象とする。

[成績評価の方法・観点]

成績評価は、期末試験（筆記試験）60%と平常点評価40%（出席と参加の状況10%、担当や批評の内容20%、質疑への受け答え10%）により評価する。
６回以上欠席した場合は、不合格とする。

[教科書]

Ellen Meiksins Wood 『Citizens to lords : a social history of western political thought from antiquity to the Middle Ages』（2008）ISBN:9781844672431（**教科書はPDFにて配付するので、購入の必要はない。**）

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

毎回の予習として、テキストの指定したページを、その回の要約担当であるかを問わず全員が事前に読んだ上で、理解できた箇所と理解できなかった箇所をそれぞれ特定しておくこと。

[その他（オフィスアワー等）]

この科目は法学部生を対象に開講される科目です。履修人数に余裕があれば、法学部以外の学生も履修することが可能ですが、法学部事務室で事前申込が必要です。詳細は履修（人数）制限に関するお知らせで確認してください。

[主要授業科目（学部・学科名）]

法学部